



より良い未来を築くために

2007年度コーポレート・シチズンシップ・レポート サマリ

概要

本書はテキサス・インスツルメンツ社の社会、環境における活動とその成果を詳細にわたって報告する、2007年度コーポレート・シチズンシップ・レポート（以下のウェブサイトで見られるwww.ti.com/csr）の要点をまとめたものです。本書はまた、TIの財務成果を報告する2007年度年次報告書の補足書としての役割も果たします。

グローバル・レポーティング・イニシアチブ

ステーク・ホルダーが期待する公開性や透明さを実現するために、当社では本書作成にあたり、グローバル・レポーティング・イニシアチブの持続性レポーティングガイドライン（G3）を用いました。本レポートは、2006年度の企業市民レポートおよび以前に発行されている「Environmental, Safety and Health (ESH) Annual Reviews (EHS年次検討書)」および「ESH Operations Reports (EHSオペレーションレポート)」の拡張版です。

コーポレート・シチズンシップに対する各賞および表彰

TIの社会的、環境的活動は、様々な第三者から高く評価されています。これら多数の賞については、本書の中で取り上げています。受賞の総合リストは、以下のサイトをご覧ください。www.ti.com/csr-awards。

TIのコーポレート・シチズンシップ

社会への貢献とより良い未来の構築に対するTIのコミットメントは、製品開発における誠実な姿勢から、製品が環境に与える影響への考慮、そして地域や社員への配慮まで、当社の活動のすべてに深く浸透しています。TIの創設者たちが75年以上前に確立したこれらのバリューは、今なお高く掲げられています。

本書に概要が記されている当社のコーポレート・シチズンシップは、以下の6つの主要分野を網羅しています。



Product stewardship



環境責任



社員のウェルビーイング



地域へのコミットメント



責任ある政策支援活動

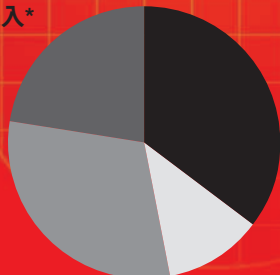


コーポレート・ガバナンス

概要

2007年度収入*

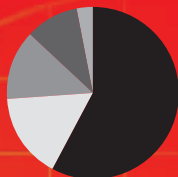
- \$4.9Bアナログ
- \$1.6Bエンベデッドプロセッシング
- \$4.2Bワイヤレス
- \$3.1Bその他



2007年度収入合計: \$13.8B
(2007年度R&D支出: \$2.15B)

2007年度売上高

地域別売上高



- 58% アジア
- 16% ヨーロッパ
- 13% 米国
- 10% 日本
- 3% 他の国々

業界別売上高**



- 50% 通信
- 30% コンピュータ
- <10% 家電
- <10% 産業用/その他
- 5% 自動車

**TIの教育用テクノロジー部門の売り上げは含まない



リチャード K. テンプルトン

ステーク・ホルダーのみならずへ

より良い未来の構築へのテキサス・インスツルメンツのコミットメントは、当社のすべての活動に反映されています。当社の歴史を通じ貫して、私たちは責任ある態度で業務に臨み、お客様、社員、地域、環境に敬意を持って接することで、収益性と持続性の両方を実現するよう着実な努力を積み重ねてきました。

この2007年度コーポレート・シチズンシップ・レポートは、当社の持続性に対する継続的なコミットメントを示し、各分野における進捗状況をまとめたものです。当社は、世界をより環境にやさしく、ヘルシーに、スマートに、安全かつより楽しいものにするという目標のもと、環境スチュワードシップおよび製品デザインの分野においてコーポレート・シチズンシップを最大限に発揮してきました。

半導体技術における継続的な躍進を通じて、TIは今日における最も困難なエネルギー問題の解決に貢献し、より優れたパフォーマンスと効率、より長いバッテリー寿命を、お客様にお届けしています。

当社のもう1つの優先事項は、優れた教育の実践を促進してゆくことです。それは技術の進歩につながり、ひいてはTIの事業成長へも良い影響をもたらします。この取り組みの一環として、2007年度は940万ドル以上を教育リサーチへの助成金として提供し、中国、インド、ガーナの諸大学と新しい提携関係を確立しました。

当社は、企業の成功は社員が生活し、仕事をし、レクリエーションを楽しむ地域の強さと密接しているという信念に基づき、奉仕の理念を深めてきました。2007年には、米国、中国、インド、フィリピンなどの国々で、TIの社員は有意義な時間を奉仕に当てるとともに、各地域内の様々な市民活動、事業活動、医療活動、福祉事業に2000万ドル近くを寄付しました。

雑誌「Fortune」は当社の社員に対する姿勢を理解し、TIをまたもや「100 Best Companies to Work For (働きたい会社トップ100)」の一社に挙げています。当社は社員の業績向上、競争力維持、定職率増加、未来のリーダー育成を念頭に、今後も社員のスキル、健康、知識を高めるために努力していきます。

2008年そしてそれ以降を展望するにあたり、当社のあらゆる分野で成功を遂げているプログラムに注目し、それを世界各国のTIコミュニティで再現していきたいと考えています。TIでは今後もさらに省エネ対策を拡充し、地域活動や慈善活動を発展させ、また社員のための健康的で充実した労働環境を推進させていきます。

また倫理観、誠実さという、今日の当社のコーポレート・シチズンシップの原動力となっているTI創設者がもたらしたバリューに基づいて、業務に臨んでいきます。当社のこの一年の進歩に対する皆様のご関心に感謝するとともに、本書に関するご意見をお待ちしています。

敬具

リチャード K. テンプルトン
社長兼最高経営責任者

*継続的的事业活動、売却済みのセンサー&コントロールズ事業を除く。(2007年度製品種類別収入は監査済みではなく、推定値。TIが財務報告において今年から採用している、新しい製品分野の分類を反映。)

カナダ、トロント

米国

テキサス州、ダラス★
メリーランド州、ジャーマンタウン
テキサス州、ヒューストン
ニューハンプシャー州、マンチェスター
テキサス州、リチャードソン
カリフォルニア州、サンディエゴ
カリフォルニア州、サンノゼ
テキサス州、シャーマン
アリゾナ州、ツーソン

メキシコ、アグアスカリエンテス

ヨーロッパ

デンマーク、オールボルグ
ドイツ、フライジング
フランス、ニース
イギリス、ノーサンプトン

アジア

インド、バンガロール
中国、香港
中国、上海
マレーシア、クアラルンプール
台湾、台北
フィリピン、バギオ
フィリピン、クラークフィールド

中東

イスラエル、テルアビブ

日本

大分県日出
茨城県美浦
東京
筑波

ハイライト

- 世界第3位の半導体メーカー
- 世界60,000以上の顧客企業に20,000品種以上の製品タイプを提供
- アナログ製品のトップ製造者およびDSPのリーダー
- 世界の携帯電話の約50%がTIテクノロジーを使用
- TIは35,000以上の特許を世界各国で取得し、2007年には1,300以上を取得

詳細はwww.ti.comを参照

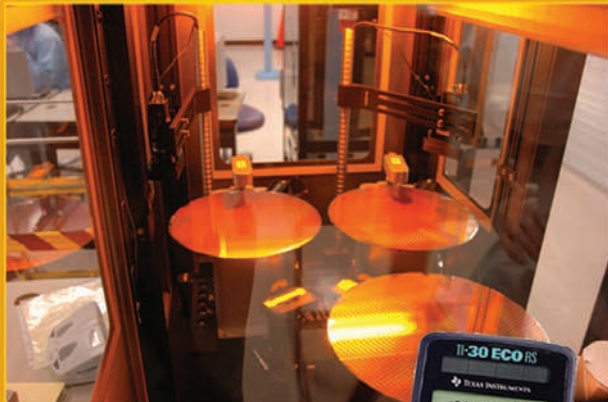
2007年度地域別社員数



- 南北アメリカ、15,000人
- アジア、9,600人
- 日本、2,400人
- ヨーロッパ、3,200人

約30,200人
世界全体

Product stewardship



テキサス州ダラスのTI半導体製造工場。



TI-30エコ計算機。



TIテクノロジーは電源管理において、さらに優れたパフォーマンスを実現。

「TIの技術はお客様の抱える問題を解決し、世界をより環境にやさしく、ヘルシーに、スマートに、安全かつ楽しくできるエレクトロニクス製品の開発を支援します。」

リチャードK.テンブルトン
社長兼最高経営責任者



Product stewardship

TIは、コンセプトから製品製造、流通、製品の寿命終了まで、すべての過程を通じて人々の健康と環境に細心の注意を払いながら製品を製造しています。

2007年度のパフォーマンス

エネルギーに関する今日の難しい課題のいくつかは、TIのアナログ技術と組み込みプロセッシング技術によって解決されつつあります。2007年、TIはこれまでの努力をさらに高め、エネルギー効率性と電源管理に関する問題をお客様が解決できるよう支援しました。

2007年後半、TIはポータブル電源管理ICを開発する会社である POWERPRECISE Solutions Inc.を買収しました。この企業買収により、TIは高性能バッテリーと電源管理ICの製品開発を促進させることが可能になりました。

TIはまた、システムのバッテリー残量計に向けて、bq27500 を発表しました。この装置はバッテリーデータを分析して、誤差1パーセントの範囲で容量を計算することができます。これにより、消費者はスマートフォンやその他の携帯機器の電力残量を正確に知ることができます。

その他の進展:

- 各種の医療機器および患者モニター装置を改善する集積回路の開発。
- ソーラー、風力、環境的に収穫可能なエネルギーなどの代替電力源を、より効率的に利用可能にする製品の促進。
- 新しい教育テクノロジー部門のプロダクト・スチュワードシップ・ウェブサイトの立ち上げにより、環境保護に関連して、この部門が具体的に実行している活動に関する情報を提供。
- 半導体処理に不可欠でありながらも、有害な恐れのある臭素と塩素などのハロゲンを、製造過程から減少または排除する努力を継続。

目標

2008年も引き続き、当社は製品のデザインと開発を責任を持って継続し、下記によりその進捗状況を報告します:

- ハロゲン使用の削減または排除に関するTIの努力について、顧客に最新情報を提供。
- 教育テクノロジー製品の環境重視の代替パッケージングが、小売店での使用に適しているかを評価。
- 教育テクノロジーのテークバックプログラムを特定し、それに参加することによって、製品の寿命終了後の管理責任を増強。
- アナログ、電源管理、エネルギー効率の良いデザインに関する顧客企業の問題解決に、これまで以上に力を傾注。

環境

テキサス・インスツルメンツでは、多数の社員が定期的に自転車通勤しています。

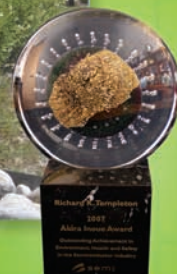


テキサス州リチャードソンにあるRFABは、世界初のLEED認定半導体製造工場です。



RFAB工場には、水やりや手入れの必要が少なく、地域原産の植物を用いたランドスケイピングなど、持続性を考慮した特長が豊富にあります。

社長兼最高経営責任者リチャードK. テンブルトンは、2007年度の井上皓EHS賞（半導体産業の環境・健康・安全面における傑出した功績に対して授与される賞）を受賞しました。



「TIは天然資源の保存、エネルギー効率の最適化、社員の安全と健康に対する最高レベルの水準の維持を実現するための、新たな方法を継続的に追求してきました。こうした努力の成果は、経費を節減する以上の効果があります。」

リチャードK. テンブルトン
社長兼最高経営責任者



環境

持続可能なオペレーションに対するTIの最終目標は、資源の無駄を皆無とすることで、当社では確固なマネジメントシステムを採用し、TIが使用する天然資源や合成資材の排除、削減、再使用、リサイクルを継続的に改善しています。

2007年度のパフォーマンス

今回初めてカーボンフットプリントを算出しました（温室効果ガスを二酸化炭素（CO₂）排出量で表したもの）。TIの二酸化炭素排出量は、2007年度は200万トン弱で、2006年と比べわずかに低下していることが判明しています。

以下は、2007年における、効率的かつ持続可能なオペレーションに向けての、当社の進捗状況および環境負荷の抑制に対する取り組み方法の一部を明らかにしたものです。

大気質と気候変動

- 燃料の使用を抑え、同時に二酸化窒素（NO_x）、二酸化炭素、揮発性有機化合物の排出を低減する、産業用触媒の共同開発を実施しました。

エネルギー利用

- 1年間で年間エネルギーコストの10%を削減。
- よりエネルギー効率の高いものに置き換え可能な機器を特定。
- エネルギー効率化目標をサプライヤーに伝達。

代替通勤方法

- 公共交通機関の無料バスや割引バスをTI社員に提供、または可能な限りワゴン車による乗り合い通勤を奨励。
- 実現可能な場合は、フレックスタイムやテレコミュティングを奨励。

水の使用量

- 2006年から2007年にかけて水の実使用量を削減。
- 15億ガロンの水を再使用。これは当社のワールドワイドにおける純使用量の約19%に相当。



マテリアルの使用とリサイクル

- 産業廃棄物の92%をリサイクルし、さらに化学物質の一部を環境に無害な物質と置き換えることで、化学物質の使用及び排出を削減。
- 2003年以来、世界各国のエネルギー電池製造会社に販売してきたスクラップシリコンウェハーの総数が300万を突破。

持続可能な拠点

- フィリピンのバギオ工場に新しいグリーンビルが完成し、フィリピン初の環境性能評価システム (LEED) 認定の建物となる予定。
- TIグリーンソリューションチームを結成し、LEED標準やその他のグラスルーツのイニシアチブをビジネスグループ内で推進するとともに、持続可能なオペレーションに向けての全体的な進捗を促進しました。

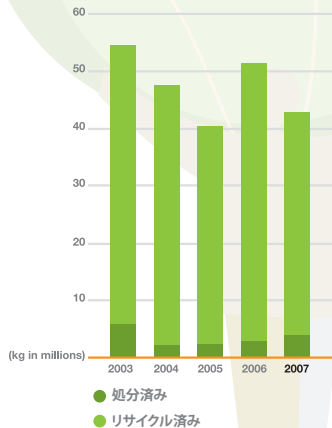


目標

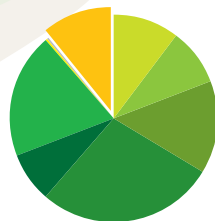
今後、TIは以下の達成に努力します。

- 世界各地におけるペルフルオロカーボン (PFC) 温室効果ガスの排出を、2010年までに1995年度のベースラインから10%削減。
- 公共交通機関の利用を増加し、社員の出張削減を他のTIキャンパスにも拡大。
- ツールの効率性を高め、節水型のシステムに投資することによって、水の使用とコストを削減。
- 堆肥化できる有機廃棄物のパーセンテージを増やし、全体的な廃棄物量を低下させる。
- 2011年までに、TIの主要工場における既存の建物すべてのLEED認定を実現。

廃棄物総量



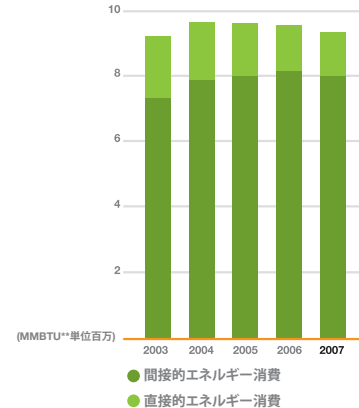
タイプ別廃棄物量



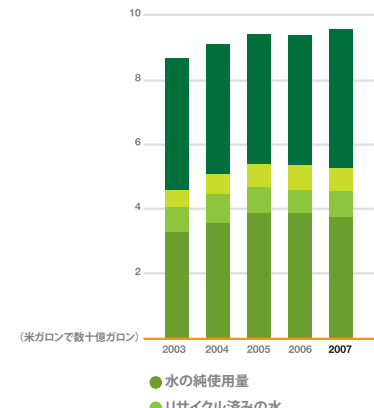
2007年、テキサス・インスツルメンツは、同社の非産業廃棄物の88%をリサイクルしました。

- リサイクル済み
- 段ボール
 - 紙
 - 金属
 - プラスチック
 - 木材
 - その他
 - 有機物(0.5%)
 - シリコン・ウェハー(0.1%)
 - ガラス(0.1%)
- 処分済み
- 埋立地に送られた他の廃棄物

エネルギー総使用量*



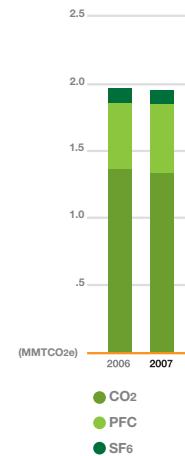
水使用量総量



*TIにより消費されたエネルギー資源の合計 (直接的、間接的の両方を含む)。
 **100万英国熱量単位 (MMBTU) は、燃料の熱エネルギーを示す単位。

*排熱用に工場内の井戸から汲み上げられ、同じ帯水層に戻される水。

二酸化炭素排出量



PFC*排出量



*これは世界各国の主要なTI工場から排出される、下記の温室効果ガスのみを対象とした初回の推定値です。二酸化炭素 (CO2) (エネルギー消費から)、ペルフルオロカーボン (PFC)、六フッ化硫黄 (SF6)。

これらの数字が、2006年度発表のTIの年間PFC排出データと異なるのは、Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC) の、温暖化係数変更による。この変更は、1995年度ベースラインとPFC削減目標の両方を合わせて当社の排出量算出量に影響を与えています。

*ペルフルオロカーボンの排出量。

**百万炭素換算トン(MMTCe)は、温室効果ガス排出量の測定単位。

社員のウェルビーイング



TIは、社員が生活の質を高め、健康と充実感を促進し、生産性を向上し、コストを削減するための様々なプログラムを提供しています。



TI社員



社員のウェルビーイング

30,000名を超えるTI社員の業績と福利が、製品開発技術の革新を推進し、当社の事業の成功を確かなものにしていきます。当社は、個々の社員が自信を培い、貢献し、成長できる職場を創出するよう努力しています。当社はチームワーク、率直なコミュニケーション、相互の尊重に専心しています。

2007年度のパフォーマンス

2007年における社員の健康とウェルビーイング促進に向けての、進捗状況は以下のとおりです。

安全

- 米国の半導体企業において、トップにランクされる、安全実績を達成。
- 米国だけでも、1,463に及ぶオフィス・ワークステーション人間工学的評価を行い、矯正措置を実施。

健康

- 世界的または地域的なパンデミックに備えて、医療専門家や事業継続チームとの提携を継続。
- エクササイズを奨励するために、米国で12週間のプログラム「Walk This Way (ウォークディスウェイ)」を開始。参加者は運動レベルを82%高め、合計255ポンドの減量に成功。

仕事と生活

- 2週間の有給休暇を、新生児を迎えた父親と養子縁組で子供をもうけた父母に拡大プログラムを適用。
- 米国のTI社員の65%が、少なくとも一日の一部を、在宅勤務することが可能となった。

多様性と包括性

- 米国に有能なエンジニアを招聘するために、ガーナの大学と提携関係を樹立。
- 多様性を受容する職場環境を実現するために、グローバル・ダイバーシティ・コンファレンスを主催。
- インド、ドイツ、マレーシア、テキサスで、「多様性を受容する環境」に関する教育研修を実施。

人権

- 互いに尊敬し合い、差別のない職場作りのために、世界各国の社員とセキュリティ担当者に、人権に関するトレーニングを実施。

能力開発

- 新しい職務への適応を支援するオリエンテーションをはじめとする、新入社員向けオンボーディングプログラムを開始。
- 有色人種の社員向けに開発されたメンタリング・プログラムを試行。

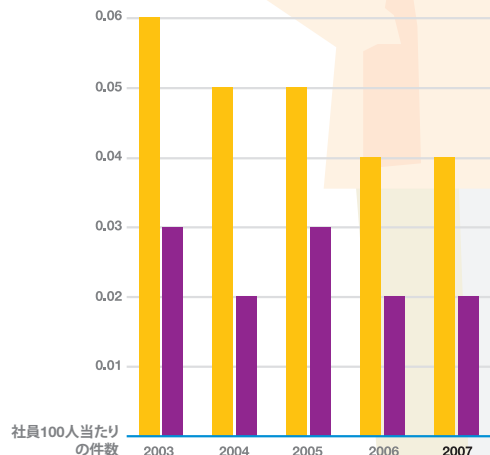
評価

- マネージャが、部下の努力や業績を効果的に賞賛できるよう、専門のワークチーム、TI Recognition Servicesやイベントを通じての支援を継続。
- 優れたパフォーマンスに対して、現金や現金以外の報酬を授与。

エンゲージメント

- シニアリーダーシップチームのメンバーが社員と直接会って、新たな事業戦略について話し合うことを可能にする「Where We're Going」シリーズを開始。
- 当社の新しい事業優先事項の理解度と受容度を確認するために、TI全社員共通意識調査を実施。
- 社員のエンゲージメント、業績、定着度を高めるため、「talent doctrines (タレント・ドクトリン)」を改訂し、マネージャやシニアリーダーシップを支援。

人間工学関連ケース



- 人間工学関係の記録可能な事故率*
- 人間工学関係L/RDCの事故率**

*記録可能な人間工学関連の事故率は、1999年から2007年までの間に91%低下。

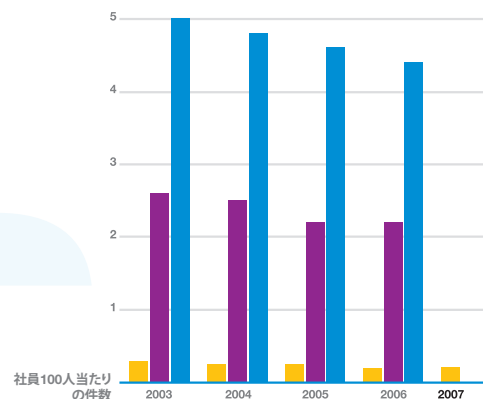
**欠勤/仕事に支障が生じた人間工学関連の傷害事例は、1999年から2007年までの間に95%低下。

目標

以下は、2008年度のTI計画目標：

- 労働災害と疾病をゼロにする長期的目標に向けて、今後も努力を継続。
- 未認定の3つの工場で、ISO 14001とOHSAS 18001認定を100%達成。ISOとOHSASは、環境、健康および安全管理基準を開発する国際認定機関です。
- TIの雇用機会均等方針に、トランスジェンダーの社員を追加。
- 世界各国における女性社員数の増加に向けて努力。
- 150社の主要サプライヤーに、人権擁護プログラムやそれに対するコミットメントを自己評価するよう依頼。

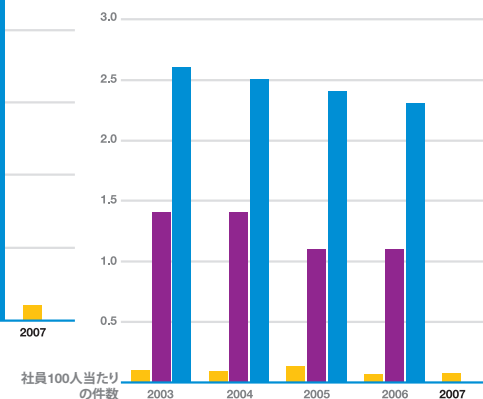
記録可能な傷害事例*



- TIレート
- 半導体業界**
- 一般業界**

*記録可能な事例 - 米国のOSHAによって定義されているように、一人または複数の労働者に救急手当て以上の治療が必要で、欠勤または仕事に支障が生じた労働災害(従業員延べ100人/年に対する率)。

欠勤/仕事に支障が生じた事例*



- TIレート
- 半導体業界**
- 一般業界**

*欠勤/仕事に支障が生じた事例 - 欠勤、仕事や配置転換などの支障が生じた労働災害(従業員延べ100人/年に対する率)。

**米国労働統計局提供の一般業界の資料。統計は米国飲みみの数字。2007年度の半導体業界および一般業界のデータは、本書作成中には入手不能。

コミュニティ

低所得者層、特に高齢者や障害者の住居を修復する慈善団体「City of Hope」が、毎年ダラス全域で行っているサービスデーに参加する社員ボランティアたち。



10年以上にわたって社員たちは、コットンウッドパークのクリーンアップに取り組み、地域の多くの子供たちが安全に遊べる公園にしました。



フィリピンで食事や教育機会に恵まれない子供たちをサポートする社員たち。



アンダーソン・チャイルドケア・グループで、ユナイテッド・ウェイの「Day of Caring (社会貢献の日)」に参加する社員たち。

「Tech Smart Big Heart」は、社員の奉仕、ボランティア活動、地域活動に専心する、TIの慈善活動パナープログラムです。



コミュニティ

TIの創設者は75年も前に、企業の価値は経済的成功だけではなく、社会への貢献度に左右されるという信念を確立していました。この理念はTIのすべての業務の基盤となりました。そして今日でも社員、住民、地域の教育や生活の質の向上に対する継続的な努力として引き継がれています。

2007年度のパフォーマンス

TIは本社をはじめ、世界各国において、当社が創業する地域で住民を支援するための努力を続けてきました。以下は当社が行った活動のハイライトです：

寄付

- 数々の地域機関、プログラム、慈善活動を支援するために、1,990万ドルを寄付。
- TI財団は各種の教育、芸術、文化、医療、福祉サービスプログラムを支援するために860万ドルを費やしました。
- 教育とテクノロジーを促進するために、インドの1,500校を超える高校のために「TI Jack Kilby Science and Technology Quiz」を主催。

教育

- 革新とカリキュラム開発を促進するために、中国の大学3校とインドの科学研究所に、TIの世界規模のリーダーシップユニバーシティプログラムへの参加を呼びかける。
- 生徒の業績を高めた10人の中高등학교教師をTIのSTEM (科学、技術、教育、数学)アカデミーの研究員に任命しました。
- 教師の教育技術を高めるために、「National Archives Teacher Scholarship Program」の費用を負担。
- ダラスの独立学区の高校卒業生すべてが大学進学や就職に向けての学力を確実に身に付けることができるよう、TI財団とTIを通じて、Dallas Achievesに150万ドル以上を授与。

マイノリティと女性のビジネス開発

- 米国においてTIのアウトソースした製品とサービスの4.5%を、直接またはサブティアを通じて、マイノリティまたは女性所有の企業 (MWBE) から調達。
- 当社のMWBEメトリクスの信頼性を確実にし、資格を持ったサプライヤーと取引するために、第三者によるMWBEステータス認定の要件を導入。

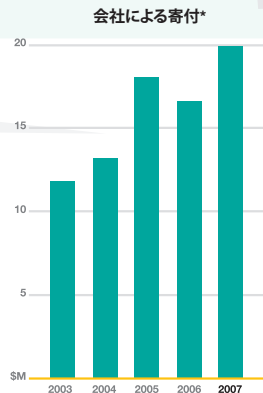
ボランティア活動

- 全米でユナイテッド・ウェイの各支部を支援するために470万ドルを集め、多大な時間を奉仕活動に提供。
- フィリピンのバギオで、食事や教育機会に恵まれない子供たちを支援するために資金を寄付。
- 社員、近隣の企業、地域リーダー、警察と協力し、飲酒運転関連の交通事故を減らし、道路状況を改善し、全般的な交通安全を高めるための交通安全キャンペーンを日本で実施。

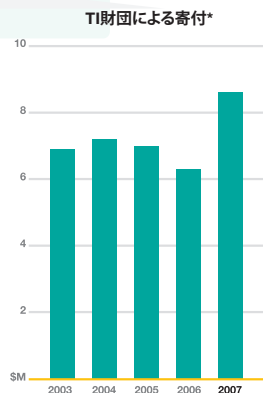
目標

今後TIの工場は、以下に向けて努力します：

- 成功を収めたイニシアチブを再現し、慈善活動の機会を特定することで、グローバル・シティズンシップを拡大。
- 米国で調達した製品やサービスのアウトソーシングの、少なくとも4%を、認定された少数民族や女性所有のサプライヤーに依頼。
- 既存の少数民族や女性所有の下請業者との取引機会を最大限に高め、現在取引がない新しいサプライヤーとの取引に向けても取り組む。
- 世界各国の慈善活動の参加者を、TIの退職者や元社員を含めるよう拡大。

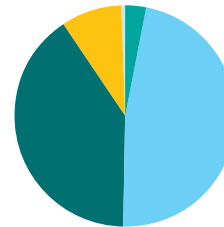


*2007年度寄付金の増加には、TIの個々のビジネスユニットによる大学への寄付金を含む。



*社員の寄付金に同額を寄せた寄付金に加え、資格ある組織への助成金を含む。

会社による寄付*



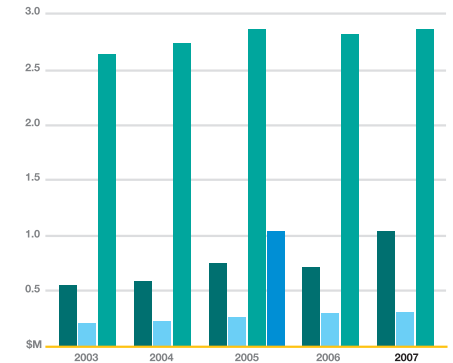
- 芸術と文化
- 教育
- TI財団による寄付*
- 地域社会への投資
- 非営利団体のメンバーシップ**

2007年、世界各国でTIは、1,990万ドルを寄付。

*TIは毎年TI財団に寄付金を提供。2007年のTI寄付額は、800万ドル。
2007年度、TI財団は助成金や同額上乗せ寄付金を合わせて、859万2,403ドルを各種プログラムに提供。

**TIは、様々な非営利団体501(c)(3)、市民団体およびビジネス団体の活動に参加。
2007年度の、この分野における合計額は、10万8,650ドル。

社員による寄付*



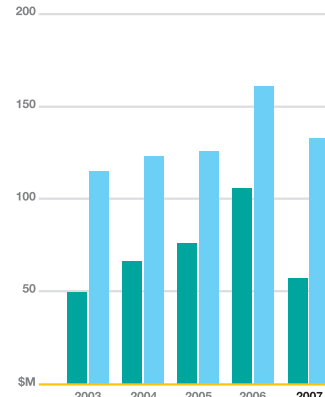
- 教育*
- 芸術と文化*
- 健康と福祉サービス(ユナイテッド・ウェイ)
- 災害救援**

*Juvenile Diabetes Research Foundation Walk to Cure Diabetes, Komen Race for the CureおよびAIDS Lifewalkなどの、特定疾病の防止や治療に対する社員の募金活動は含まない。

*寄付額はTIの寄付金同額上乗せプログラムで追跡。

**南アジアの津波救済と米国のハリケーン「カトリーナ」および「リタ」の救援資金を含む(合計100万ドル以上)。ハリケーン救援活動に費やした、社員のボランティア活動時間相当額10万ドル以上は含まない。

マイノリティと女性のビジネス開発*



- 女性所有の企業**
- マイノリティ所有の企業

*合計額は直接MWBEサプライヤーに費やされた額のみを示し、サブティアを通じたものは含まない。

**2003年から2006年までのWBE支出データには、マイノリティとマイノリティでない女性サプライヤーを含む。2007年、業界のベストプラクティスにさらに準拠するように、当社のWBEメトリックは、少数民族女性のみを含むよう改訂されました。

政策支援活動



テキサス州ダラスのTI製造工場を訪問する米国黒人議員連盟の面々。



SIAを代表し、米国の数学教育と科学教育の向上に対する努力を称え、米国教育長官マーガレット・スプリングス氏に、2007年度リーダーシップ賞を授与するTI社長兼最高経営責任者。



テキサス州ダラスのニューハンプシャー州にあるTI工場を訪問する、ジョン・スヌーマ米国上院議員（ニューハンプシャー共和党議員）とTIバイスプレジデント、スティーブ・アンダーソン。



テキサス州ダラスのTI製造工場を見学するヘンリー・クエリアル米国下院議員（テキサス州民主党議員）。



政策支援活動

TIは、株主、社員、顧客に対し、当社の事業目標達成に役立ち、事業成長を促進する環境を育むための行政政策を支援する義務を担っています。2007年、TIは米国の連邦および州政府の政策支援活動に、270万ドルを投入しました。

2007年度のパフォーマンス

以下は当社による政策支援活動のハイライトです：

- 技術革新を国の優先事項とし、基本的なリサーチや科学、技術、工学、数学教育への連邦レベルのサポートを強化するための、二大政党提携による「アメリカCOMPETES法」の制定を支援。
- 大量生産装置に関する規制のアップデートを確保して、新たな輸出規制を阻止。
- 様々な規制手続きに参加し、TIテクノロジーの開発機会を促進。
- 半導体産業およびこの業界が直面している公共政策の課題、特に大学研究機関への資金提供、エンジニアや科学者の育成強化、卓越した人材の確保、米国企業や米国内の研究機関への投資を奨励する税政策などについての理解を深めてもらえるよう、多数の連邦、州政府役人をTIの拠点に迎えました。
- 技術革新の価値を保護するために、特許改革法の修正に努力しました。

目標

以下は、2008年度のTI計画目標：

- 基礎科学や工学への資金増加を確保。
- 規制手続きを通じて、TIのテクノロジーを推進。
- 輸出規制政策が通商の実態に合ったものであるよう努力します。
- 特定の半導体装置に対する関税を削減し、開かれた貿易政策を確保し、自由貿易協定に対する議会承認を目指します。
- 米国の大学から修士、博士号を受けている優秀な人材に対し、永住ビザを発行するよう法案設定を促進。
- TIのウェブサイトの政府関係活動、政治的関与プログラム、政策と支出に関するページを、年に二回更新。

コーポレート・ガバナンス



1961年に初版が発行され、現在までに8回改訂されている、TIの「Values and Ethics (価値と倫理)」は、エシックスを基盤とする企業文化を明記しています。



TI社員



コーポレート・ガバナンス

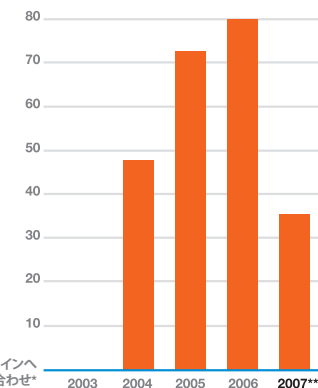
TIでは、優れたコーポレート・ガバナンスは会社の長期的な成功の基本的な要因であると確信しています。「Code of Business Conduct (ビジネス行動規範)」を順守し、倫理的に事業を行うことは、当社の経営の基本です。

2007年度のパフォーマンス

これらのバリューは、2007年のパフォーマンスに反映されています。

- 規制準拠を順守し、ガバナンス関連の大きな問題の報告はありません。
- 85%の主要社員に、TIの腐敗行為防止政策と手順に関する、腐敗行為リスク管理のトレーニングを実施。
- TIの経理と監査ホットラインへの問い合わせには、不正経理やその他の大きな倫理問題はありません。
- 競争阻害行動、独占禁止法、独占行為に関する訴訟の報告はありません。
- 世界各国で当社が操業する各地域におけるコーポレート・シティズンシップを専門に扱う、当社初のチームを結成。
- TIの社会的、環境的活動の詳細を報告する、当社初の「Corporate Citizenship Report (コーポレート・シティズンシップ・レポート)」を完成。このレポートは、GRI (グローバル・レポートング・イニシアチブ)の「持続可能性報告のガイドライン」を基本にしています。

経理と監査ホットラインへの問い合わせ



*今日までに受けた経理と監査ホットラインへの問い合わせには、不正会計や大きな倫理的問題はありません。

**2007年9月、www.ti.comが強化され、各社員は経理と監査以外の質問について、その質問に最も良く回答できるTIオペレーションに質問できるようになりました。2007年全体を通じて、経理と監査ホットラインへの問い合わせ数が減っているのは、主にこのウェブサイトが強化されたためです。

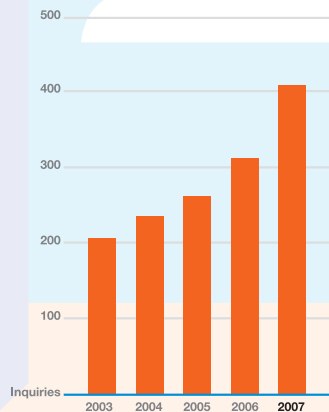
経理と監査ホットラインへの問い合わせ*

目標

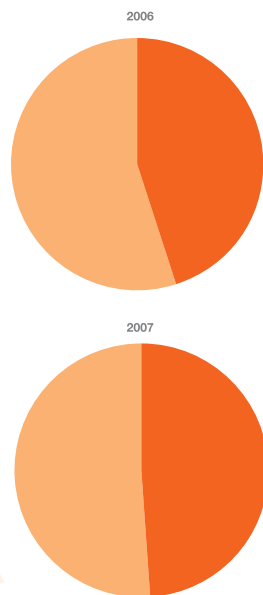
以下は、2008年度のTI計画目標:

- TIの社長兼最高経営責任者、リッチ・テンプレトンが会長職に就きます。現職の会長、トム・エンジバスは、2008年に退任しました。
- コーポレート・ガバナンスのベストプラクティスとベンチマークを競合他社のものと比較検討し、当社のガバナンス活動が最適なもので、TIの事業計画と戦略的に一致していることを確認します。
- 全社レベルのデータ収集管理システムをインストールし、シティズンシップ・イニシアチブの評価を改善し、正確なレポートを確保。

エシックス・オフィスへの問い合わせ



エシックス・オフィスへの問い合わせ内容*



● 倫理または人事関係の質問

● 倫理または人事関係の懸念

*受け付けられたケースには、重大な経理問題や大きな財務リスクに関するものはなし。

本書には、予測と結果が著しく異なる可能性のある、いくつかのリスクや不確実さを含む予測的な内容の表現が含まれています。これらの「予測的な内容」には、TIの期待、計画、意図、目標などが含まれ、Private Securities Litigation Reform Act of 1995 (1995年民事証券訴訟改革法)で規定される責任事項からの免責条件を満たすことを意図しています。将来の操業に実質的に影響を与えるリスクや不確実性についての詳細は、TIの最新の10-Kフォームを参照してください。本書発行以後の発展経過に合わせて、当社はこの「予測的な内容」を書き換える意図や義務はありません。

プラットフォーム・バー、TMS320C6000およびOMAPは、テキサスインスツルメンツの商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に属します。

本社

Texas Instruments Incorporated
12500 TI Boulevard
Dallas, TX 75243
www.ti.com

ご意見

本書に関するご意見やご質問は、以下までお寄せください：
citizenshipreportfeedback@list.ti.com



© Texas Instruments Incorporated 2008

